

一般会計 1億3952万5千円の追加

予算総額 117億8485万1千円となりました。

▷一般会計・主な事業◁

補修工事 ————— 450万円

- ・育成牧場管理事務所改修…………… 110万円
- ・阿歴内公民館雨漏り修繕…………… 210万円
- ・予備費として…………… 130万円

移住応援給付金(塘路市街地限定) ————— 510万円

- ・3軒分

引退乗用馬飼養環境整備支援補助金 ————— 650万円

- ・厩舎の改修、備品購入など(クラウドファンディングの寄附金から支出)

道路維持費 ————— 7830万4千円

- ・道路補修工事や防雪柵設置など

介護保険事業 7089万1千円の追加 (前年度繰越金など)

病院事業会計

- ・建設改良費……………871万2千円の追加
- ・医業費用……………137万円の追加(窓サッシ修繕)

令和六年・第三回定例会 補正予算可決

議案

議案第45号

標茶町表彰条例に基づく被表彰者の決定について
 ・50年以上本町に在住し、郷土を愛し勤労に励み町の発展に寄与された

83名

・勤続表彰 消防団員、交通安全指導員、商工会役員
 5名

議会はこれに同意しました。

議案第46号(可決)

損害賠償の額の決定について
 ・役場車両の交通事故による損害賠償
 37万4千円

議案第47号(可決)

工事請負契約の締結について
 ・標茶中茶安別線道路改良舗装工事
 1億7820万円

1億7820万円

議案第48号(可決)

北海道後期高齢者医療広域連合規約の一部改正
 ・マイナンバーカードと被保険者証一体化に伴う広域連合規約の一部を変更する必要性が生じたことによる改正

議案第49号(可決)

標茶町税条例の一部改正
 ・政令が交付されたことによる一部改正

議案第50号(可決)

標茶町国民健康保険条例の一部改正
 ・令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることに伴う改正で、被保険者証の返還に応じないものに対する10万円以下の過料の規定が削られることとなったための改正

議案第51号(可決)

標茶町水道事業給水条例の一部改正
 ・関係省令の変更に伴う一部改正

一般質問

町政を問う

標茶町クリーンセンター計量棟に女性用トイレを設置すべき

町長 女性用トイレの設置は考えていない

一 隆 議員
櫻井

問 標茶町クリーンセンター計量棟は女性用トイレがなく不便である。一度トイレに入って使用してみたらわかる。ドアの入り口に施錠されたら、女子が使っているときに男子は使えない、男子が使っている女子は入れない仕組みになっている。

法律に抵触していないからこのままで良いということはおかしらのではないかと。

職場で働く者の利便性だとか、環境衛生面など考慮すべきではないか。

男女平等で女性が社会に進出し、いろんな面で活躍している。町としてもそう

いう人たちを採用して、多くの労働力を得て、町が運営されている。一人、二人だからいいのだというものではない。現場からも声が上がっているのではないかと。

現場の話をよく聞いて、速やかに改築に取り掛かり、労働環境の改善に努めるべきと思うが、町長の考えを聞く。

答 標茶町クリーンセンターの女性用トイレについては、設置するスペースと費用面に課題がある。

現状、扉を施錠できるよう改修したことで労働安全衛生規則に合致しており、新たに女性用トイレを設置する考えはない。



新型コロナウイルスの医療費に対する負担軽減策が必要だ
町長 助成は考えていない

光信 議員
類瀬

問 新型コロナウイルスの感染者が絶えない。下水道のモニタリングや空気清浄機の導入補助など積極的に対策すべきではないか。

また、治療に欠かせない抗ウイルス薬は、自己負担3割の場合、薬代だけで15800円から30000円の高額な負担となる。そのため、経済的な理由で抗ウイルス薬の処方拒む、あるいは受診しない事例があるとの報道もあるが、本町はどうか。町は、高齢者や低所得者の実情をどう認識しているか。

対症療法のみでは回復に時間がかかり、経済活動の停滞が長期化する。さらに、重症化リスクも高まる。

町民が迷わず受診し、抗ウイルス薬の処方を受け、有効な予防手段であるワクチンを接種できるよう、それぞれの費用を助成すべきではないか。

答 ウイルス除去に有効な空気清浄機の導入補助や、感染状況を下水道のモニタリングで把握する考えはない。「受診控え」は、事前に相談を受けた中で費用から受診しない、または処方を希望しない事例がごくわずかだがある。ワクチンは、65歳以上か60歳以上65歳未満の基礎疾患のある人は、20000円で接種できる。また、治療費は、0歳から大学生までが実質無償だ。現時点で助成は考えていないが、今後必要があれば研究する。



類瀬 光信 議員

有害駆除の体制強化と町職員の安全確保、危険手当支給を

問 ヒグマの駆除は、今後10年間過去最多のペースで進むことになる。猟友会の協力を得るために、条件の整備が必要ではないか。

また、昨年、町のススメバチ駆除件数は170件超であった。防護服着用、工ピペン携帯の危険な業務だ。有害駆除にあたる職員の装備は十分か。

一般職の職員が危険を伴う有害駆除業務に就いているが、専門家の配置や危険業務手当の支給が必要ではないか。

職員の安全確保には万全を期している

答 オソ18の駆除に際して、猟友会と捕獲実績の豊富な組織との協力体制を整えた。必要に応じて協力が得られるので専門家の配置は考えていない。

職員の安全確保には万全を期しているが、有効な装備等は適宜導入を検討する。危険を伴う有害駆除に従事する職員への手当は規定していない。管内で3自治体が手当を支給している点を踏まえ、見直しの必要性を研究したい。



スマート農業の推進ではなく家族農業による持続可能な経営を町長 各酪農家がどういうビジョンを持つかが重要

之 議員 渡邊

問 食料、農業、農村基本法が25年ぶりに改められたが、国際価格の変動に直撃され農業経営は悪化するばかりだ。

そのような状況の中で「みどりの食料システム戦略」の名のもとに農業を輸出産業に転換することを政策上位置づけるとしている。

令和元年度に「畜産経営体生産性向上対策事業」を創設したが、令和5年度補正予算からは畜産クラスター事業におけるICT化等機械装置等導入事業として継続されている。農業の大規模化が推進され農業の工業化が進む中、本町の今後の酪農の方向性に対し、町長の所見を伺う。

スマート農業の推進は多額の負債を抱え込む結果となり、家族農業による持続可能な経営が困難になると思うがどうか。また、スマー

ト農業の推進は、後継者が新規就農者にとって選択肢が狭められると考えるが、町長の所見を聞く。本町独自の支援策等の検討はあるのか。

答 大規模化のみを推奨しているわけではない。

酪農・肉用牛生産近代化計画書の中で、草地形畜産の推進と強化、多様な担い手の育成、確保に力を入れる方針を定めた。そのためには搾乳ロボット等の先端技術による労働負担の軽減も必要だ。一方、放牧酪農は省力的で低コストであることから、導入可能な経営体に推奨していく。

多様な経営スタイルに同じ経営体質を強化することを目指していく。



渡邊 定之 議員

学校の猛暑対策の効果的な見通しを聞く

問 この夏も猛暑により学校生活での子どもたちの悲痛な声が父母を通じて多く聞こえてくる。エアコンについて議論されているが、今後の見通しについて聞く。

猛暑対策としてどのような対策を講じているのか、登下校の際についてもクーリングボックスなどの対応はしているのか。

また、教室の網戸などは設置しているのか。

固定型エアコンの設置に向け検討を進めている

答 学校へのエアコン設置は、優先度の高い保健室には既に設置を完了した。各教室には、他の施設で導入済みの簡易型エアコンの評価、検証に基づき、より高性能な固定型エアコンの設置を検討している。

現状は、軽装と水分補給、冷却グッズ携行を推奨。大型扇風機の常時稼働、窓際での学習を回避するなどしている。

今後可能な限りの猛暑対策で、児童生徒の安全確保に努める。



町営プールの改修計画策定を早期に行うべきでは
教育長 統廃合も含めた検討が必要と指摘されている

昇一 齋藤 議員

問 町営プールは現在4施設運営されており、建設より約25年から40数年経過し、老朽化が進んでおり、利用に支障をきたしている。と聞いている。

この4施設の利用においては、幼児児童の利用が約80%となっている。

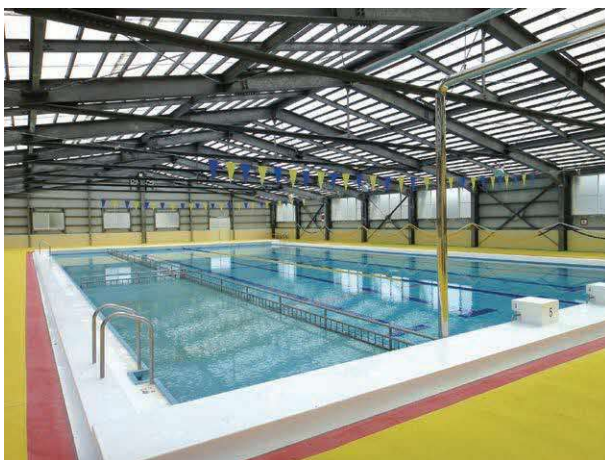
改修計画策定にあたっては、利用状況や利用形態を綿密に把握し、利用者が多い幼児児童が利用しやすい町営プールにすべきではないか。

現在4施設あるプールを統合することなく、早期に施設の耐力度など安全面の調査を行い、安全安心な施設管理運営するためにも、改修計画の策定を早急に進めるべきと考えるがどうか。

答 標茶町営プールは築47年、磯分内水泳プールと虹別水泳プールは築40年、茶安別交流館は築25年経過し、毎年修繕が必要な状況だ。

令和2年、社会教育委員の会から施設の老朽化や管理人の担い手不足等により安全管理への影響が出る可能性があるので、施設の統廃合も含めた検討を行うべきと指摘された。

利用状況に合わせた機能の調査、ニーズの把握、財源の確保等情報収集に努めたい。



仕事で必要な資格取得費用の一部補助を

町長 各種助成制度の周知に努める

宮 式 議員
長 尾

問 現代社会では、仕事をするうえで様々な資格

を取得する必要がある。普通自動車免許をはじめ、職務によってさまざまな資格が必要とされている。

現在標茶町も全国的な例にもれず少子高齢化の影響下、人材不足が町内でも懸念されている。

しかし、町内には資格が不足しているために思った仕事に就けない、職務上必要であるが近年の資格取得費用の上昇で費用を捻出するのが難しく業務に支障が出ているなど、町内就労人口の維持の妨げとなっている。

町内経済の振興を図るためにも就労人口の維持は必須条件である。一部補助には一定の条件を含めたルール作りも必要であるが、町民が働きやすい環境を整備するためにも資格取得費用の一部補助は必要と思う

が、町長の所見を聞く。

答 まず、労働者や離職者、事業者向けの各種助成

制度を利用して欲しい。必要な方に必要な情報が伝わるよう周知に努める。

町独自の支援や助成制度創設については、今後研究したい。



育英資金については、Uターンして一定期間働いた場合、償還を免除する形としたが、各種資格についても産業構造を考えながら独自の支援や助成制度創設について今後研究していきたい。

標茶霊園内の環境整備を

町長 来園者からの不備、不便等の声は届いていない

智 子 議員
池 鴻

問 霊園内入り口に設置されているトイレは表示

板も小さく男女兼用、個室で段差もある。

この度駐車場スペースに車椅子マークが書かれたが、この人々はトイレを使用する事が出来ない。身体の不自由な人たちも利用できるバリアフリー型のトイレに改修すべきと考えるがどうか。

また、霊園内に6基のベンチが設置されているが、4基は老朽化している。事故につながるおそれもある。暑さ対策も考え東屋を設置するべきではないかと思うがどうか。

少数と推測する。

トイレの表示を分かりやすくし、利用環境も整える。ベンチは増設する。

バリアフリー型のトイレ改修と東屋の設置は、利便性の向上につながるが、現状、改修するには至らないと考える。今後、できるだけ早く研究していく。

答

お盆やお彼岸といった来園者が増える時期において、意見、要望等はない。また、トイレトパーパー等の使用状況から、霊園トイレの使用者は、ごく



霊園内トイレ

特別養護老人ホーム介護職員は増員したか

町長 100名の定員を受け入れるには10名不足

黒沼 俊幸
議員

問 特別養護老人ホームやすらぎ園は本町老人福祉の拠点であり、介護施設ではどうしても必要な施設である。

昭和49年からの開設で、開設50周年を迎えたが、介護職員は増員されたか。

この施設の建て替えはどのように検討しているか。近隣の市町村では2階建てのユニットケア型施設がつかわれており、本町も新しいタイプの施設にすべきと考えるがどうか。

ユニットケア型は介護職員の労働が楽になると思うが、この点はどうか。

答 令和5年4月1日との比較で1名増えている。

しかし、正規の施設定員100名と短期入所12名を維持するためには、フルタイム7名、パート3名の介護職員が不足している。



施設の建て替えは、将来の人口や高齢者人口の推移を見極め、施設の在り方を総合的に検討しなければならぬ。補助率の有利な防衛省の防音対策事業の採択に向け検討している。

化学物質過敏症に対する対応を

町長 町有施設での使用をできるだけ控える

鈴木 裕美
議員

問 洗剤や芳香剤など、日常生活で使用するものに含まれる化学的物質により、頭痛、めまい、はき

気、倦怠感などの症状が現れる化学物質過敏症は、軽度の人を含めれば10人に1人は何らかの物質に対する過敏症があるとも言われている。町民のなかにも苦しみ悩んでいる人がいる。

外出先や学校などで原因物質に接した家族や子どもと触れても症状があらわれることがあるとも言われている。

化学物質過敏症対策を真剣に取り組んでいる自治体があるというが、本町も町民の健康を守るため、公共施設、学校、保育園などでのような洗剤、芳香剤などが使用されているか調査すべきではないか。

さらに、化学物質過敏症対策として、町民に対する

情報提供などを行ってはどうか。

また、学校給食共同調理場では、今も石鹸を使用しているか。

「悪意なき汚染」である香害、化学物質過敏症を知ること、地域の環境汚染が見えてくるのではないか。

答 町有施設で使用されている洗剤、芳香剤等を調査する考えはない。

以前、学校給食共同調理場で無添加の粉石鹸を使用していたが、改築後、食洗機の導入に伴い専用の合成洗剤に切り替えた。

町有施設での香りつき洗剤、柔軟剤、芳香剤、消臭剤の使用をできるだけ控え、無香料のものを使用するよう周知する。町民に対して情報やホームページで情報を提供する。

